
君に贈る花言葉

小野葉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君に贈る花言葉

【Nコード】

N5627I

【作者名】

小野葉

【あらすじ】

高校生の夢羽の彼氏は、社会人の昌樹。

口下手な私は、彼にキチンと思いを伝えられないけど、代わりに君に花を贈るよ。

君に贈る花言葉を……………。

私の名前は笹野 夢羽（ササノ ユメハ）
どこにでも居る、口下手な高校生です。
突然ですけど、私には彼氏がいます。
私より五歳年上の彼は、立派な社会人。
私は今、そんな彼のマンションに来ています。

「ふう……………疲れたあ……………」

居間でくつろいでいる私を余所に、パソコンでいつまでも仕事をしている彼がポツリと呟いた。

「昌樹、そんなに仕事忙しいの？」

昌樹のパソコンを覗き見しながら、ふと彼に問いかける。

「ああ、忙しいさ。毎日睡眠時間削って、家でも仕事だよ」

ため息混じりにそう話す昌樹。

そういえば、昌樹の目元にはクッキリとクマが出来ていた。
そんなに忙しいのに、私ったらなんて無神経な……………！！

私は急にいたたまれない気持ちになって昌樹のアパートを飛び出し

た。

「おい、夢羽っ！？」

制止する彼の声が響いたけど、私はそれを無視して、近くのお店に走る。

ない、ない……！！

どこを探しても“アレ”が見つからない。

……………そうだ！！

私は“アレ”を探して、近くの公園に走りました。
やっぱりあった…。

“アレ”が。

「夢羽！！」

突然背後から聞こえた昌樹の声。

フワッと顔だけ向けると、そこには、
疲れているのに私を追いかけて
てきてくれた昌樹の姿がありました。

「ま、昌樹！！」

「心配しただろっ！！なんで何も言わないで出てっただよ…。オレが嫌いになった？」

昌樹の腕にキツく抱きしめられる。

「うっん。嫌いになってなんかないよ？コレを探してたんだ……」

私は“アレ”を昌樹の手のひらにふわりと置いた。

「銀杏？どうして銀杏なんか……」

「あのね、昌樹。銀杏の花言葉は“長寿”。言葉じゃ照れて伝えられないと思ったから……せめて花言葉で伝えようと思って……」

どもりながらも、キチンと私の気持ちを伝える。
すると、昌樹が突然笑いだした。

「バツカじゃねえの？花言葉じゃないと伝えられねえのかよ？」

むう……………バカにされた。

私が軽く頬を膨らませると、昌樹がその頬を左右に引っ張る。

「でも、ありがとうな。オレの為に」

昌樹は私の頬から手を離すと、花が開くように笑った。

「どういたしまして」

私もおんなじように笑って、昌樹の手を握った。

「一緒に……………手を繋いで帰ろう?」

口下手な私からの初めての誘いに、驚きつつも、包み込むように優しく手を握り返した昌樹。

口下手な私は

うまくアナタに

気持ちなんて伝えられないけど

せめて君に花を贈るよ

君に贈る花言葉を……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5627i/>

君に贈る花言葉

2010年10月16日11時08分発行